

第 10 回 知 多 市 教 育 委 員 会 定 例 会 会 議 録

令 和 6 年 1 0 月 1 1 日

知 多 市 教 育 委 員 会

第10回知多市教育委員会定例会会議録

招集年月日	令和6年10月11日
招集場所	知多市役所書庫棟会議室1
開会	午前9時30分
閉会	午前10時45分
出席者	教育長 永井清司 委員 加古三津代 栗本弘太 久野美奈子 竹内直哉
出席した職員	教育部長 竹内芳美 学校教育課長 林 絵美 生涯学習スポーツ課長 濱野和江 指導主事 後藤浩子 鈴木光城 事務局学校教育課 山本 泉 竹内久恵
傍聴者	なし
議題	(1) 議案第20号 指定管理者の候補者の選定（中央図書館）について（協議）
その他	(1) 令和6年9月市議会定例会の一般質問の概要について（報告） (2) 令和7年教育委員会会議開催スケジュール（案）について（報告） (3) 令和6年度全国学力・学習状況調査の結果について（報告） (4) 市民体育館の工事に伴う一部利用休止について（報告） (5) 令和6年9月準要保護者等の認定状況について（報告） (6) 教育委員会後援事業について（報告）

1 開会

出席者5人

第10回知多市教育委員会定例会を開会する。

2 前回会議録の承認について

第9回定例会会議録は、委員全員の賛成により承認された。

第9回署名委員 久野委員、栗本委員

第10回定例会会議録署名委員を指名した。

竹内委員、久野委員

3 教育長報告

別紙教育長報告により説明した。なお、概略は次のとおりである。

(1) 図書館を使った調べる学習コンクール審査会

力作ぞろいで年々レベルが高くなっているように感じられます。10月19日に表彰式を行った後、2点を全国大会に応募する予定です。

(2) 所管事務調査（小学校水泳授業）

アクアマリンプラザで実際の水泳授業を見学しました。

(3) 尾張部都市教育長会並びに尾張部町村教育長会合同臨時会議

働き方ロードマップについて協議しました。2026年までに在校時間45時間超の教職員を0人にするという目標を掲げています。

(4) 愛知県学校事務職員組合知多支部知多市分会懇談会

県費負担学校事務職員の組合との懇談会になります。事務局と連携して事務改善や事務の効率化が行えるよう話し合いました。

(5) 牟山神社大祭（朝倉梯子獅子）

10月5日には伊藤復興大臣と大村知事がお見えになりました。

(6) 知教研学校体育研究部研究発表会

体育の研究発表会が知多市で行われ、大府市と美浜町が発表しました。あいさつの中で、体育は集団行動の基礎になる科目ですので、しっかり行っていただきたいと話しました。

4 議題

(1) 議案第20号 指定管理者の候補者の選定（中央図書館）について（協議）

（説明）濱野生涯学習スポーツ課長

議案第20号 指定管理者の候補者の選定（中央図書館）について、ご説明いたします。

今回の選定は、指定期間の満了に伴い、指定管理者の候補者を教育委員会が選定するものでございます。1の施設名称は、知多市立中央図書館、2の指定管理者候補団体は、「株式会社図書館流通センター」です。

令和6年9月30日に開催いたしました、指定管理者選定委員会において、応募のあった2団体から申請内容の説明と選定委員からの質疑を行い、選定評価の結果、総合得点600点のうち、受託資格基準の50%を超え、448.1点を得た「株式会社図書館流通センター」を、教育委員会が指定管理者の候補として選定しようとするものです。

選定理由は、1から3までの記載のとおりです。指定の期間は、令和7年4月1日から令和12年3月31日までの5年間でございます。

よろしくご協議お願いします。

(質疑・意見)

加古委員

選定理由2に「図書館開館45周年記念事業」についての記載がありますが、45周年は何年度になりますか。

濱野生涯学習スポーツ課長

図書館は1980年4月に開館したため、45周年を迎えるのは令和7年度になります。

(採決) 全員賛成、原案承認

5 その他

(1) 令和6年9月市議会定例会の一般質問の概要について(報告)

(説明) 竹内教育部長

令和6年9月市議会定例会の一般質問の概要について、ご説明いたします。

1の公明党議員団、泉清秀議員から、1番目小中学校における防災教育について質問があり、市長答弁の後、1点目避難訓練の実施状況について、2点目他団体等との連携による防災教育の事例について、3点目教職員の研修について、4点目災害に備えた学習について教育長が答弁し、再質問が1つありました。要望として、防災教育を継続しつつ、もう一步踏み込んで子どもたちがさらに防災意識を高め、自ら考え工夫することができるよう、フェーズフリー教育を一層推進していくこと、とありました。

次に2の日本共産党議員団、久野たき議員から、1番目地震発生時の避難所について質問があり、市長答弁の後、1点目小中学校のエアコン設置状況について教育部長が答弁し、再質問が1つありました。要望として、子どもたちの熱中症予防の観点からも、また災害対策の点からも、体育館へのエアコン設置を急ぐ必要があり、スケジュールを前倒しし、早急に設置を進めるよう検討すること、とありました。

3の市民クラブ、藤沢巖議員から、1番目部活動の地域移行・地域連携について質問があり、市長答弁の後、1点目現状の課題について、2点目本市の方向性について教育長が答弁し、再質問が1つありました。要望として、部活動における安全のためのルールや安全管理の方法等を明確に提示したガイドラインの作成と緊急時の応急処置などの手順を具体的に示したマニュアルの作成と、就学援助制度を拡充し、保険料や参加費等、部活動の地域移行に伴う活動費用の経済的支援を実施すること、とありました。

2番目コミュニティ・スクール及び地域学校協働活動について質問があり、市長答弁の後、1点目コミュニティ・スクールの取組実績及び成果について、2点目今後の導入予定について教育長が答弁しました。

要望として、地域に中学生ボランティアの存在を周知していき、地域と連携・協働する中学生ボランティア活動を推進すること、とありました。

以上で説明を終わります。

(質疑・意見)

栗本委員

フェーズフリー教育とは、どのような教育のことでしょうか。

竹内教育部長

日常時と非常時の分け隔てなく、生活の中に防災についての要素を取り入れていく教育になります。

(2) 令和7年教育委員会会議開催スケジュール(案)について(報告)

(説明) 林学校教育課長

令和7年教育委員会会議開催スケジュール(案)について、ご説明いたします。

定例会はこれまでどおり、原則として、毎月第2金曜日、開催時刻は午前9時30分を予定しています。

なお、3月の第3回定例会は、人事内示等の関係により2月28日の金曜日を予定しています。2月、8月の定例会につきましては、それぞれ終了後に教職員表彰、教育予算要望懇談会を予定しているため、午後に開催する予定です。

また、6月、9月及び12月につきましては、市議会の開催日程により、変更する場合がありますので、よろしくお願ひします。

以上で説明を終わります。

(質疑・意見) なし

(3) 令和6年度全国学力・学習状況調査の結果について(報告)

(説明) 鈴木指導主事

令和6年度全国学力・学習状況調査の結果について、ご説明いたします。

今年度は4月18日木曜日に実施しました。

「個人票の配付について」は、各学校が個人票を配付する際に添付していただく保護者向けの案内です。なお、個人票の配付は、本日の定例会以降で各校へ依頼しています。

小学校の概要でございますが、国語は「努力を要する状態」、算数は「やや努力を要する状態」であります。

国語の「情報の扱い方に関する事項」では「情報と情報との関連付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うことができる」ことについて課題が見られました。「書くこと」の領域における「目的や意図に応じて、自分の考えが伝わるようにするための書き表し方を工夫する」ことに課題が見られました。「読むこと」の領域における「人物像や物語の全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりする」ことにやや課題が見られました。

算数の「図形」の領域における「直方体の見取り図や直径、円周の長さ、円周率の関係について理解する」ことに課題が見られました。「変化と関係」の領域における「速さの意味について理解する」ことは、全国平均正答率をやや上回っていることが分かりました。「データ活用」の領域における「折れ線グラフから必要な数値を読み取り、条件に当てはまることを記述する」ことは、全国平均正答率をやや上回っていることが分かりました。

中学校の概要でございますが、2教科とも「やや努力を要する状態」であります。

国語につきましては「話すこと・聞くこと」の領域における「話し合いの話題や展開を捉えながら、他者の発言と結び付けて自分の考えをまとめる」ことに課題が見られました。「書くこと」の領域における「表現の効果を考えて描写するなど、自分の考えが伝わる文章になるように工夫する」ことにやや課題が見られました。「読むこと」の領域における「文章と図を結び付け、その関係を踏まえて内容を解釈する」ことは、全国平均正答率をやや上回っていることが分かりました。

数学は「関数」の領域において「グラフの傾きや交点の意味を事象に即して解釈する」ことは、全国平均正答率をやや上回っていることが分かりました。同じく「関数」の領域における「事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明する」ことに課題が見られました。「データ活用」の領域においては「複数の集団のデータの分布の傾向を比較して捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明する」ことに課題が見られました。

また、小中学校、国語、算数・数学に共通する課題として、知多市は記述式の問題に対す

る無回答率がすべての問題で県平均・全国平均を下回っていることが分かりました。分からない問題でもチャレンジしていく必要があることや、質問に対しての意志に関わってくることも分かっています。

小学校の児童質問紙分析ですが「課題解決に向けて、自分で考え、取り組んでいるか」「自分の考えを工夫して発表しているか」「話し合いを通じて、自分の考えを深めたか」の項目で肯定回答が大きく増加しました。新学習指導要領の趣旨を踏まえた「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善が図られた結果、児童の認識も変化したと考えられます。「自分にあった学び方であったか」「周りと協力して課題解決しているか」の項目は、8割を超える肯定回答であるものの、どちらの回答も全国平均を下回っていました。今後も継続して個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実に向けた指導方法の工夫が必要であると考えられます。ICT機器活用の効力感の項目は、令和6年度からの新しい項目になります。どの項目もおおよそ9割程度の児童が肯定回答で、県平均・全国平均を上回っていました。これは本市がリーディングDX事業を中心にICT機器の活用を進める中で、児童がその効力を実感しているものと考えられます。引き続きICT機器を普段使いする中で、児童自身の判断で課題解決に使用するかどうかを選択できるような授業の実践を進めていく必要があると考えます。

学校生活の楽しさや友達との関係性について、児童の8割以上が肯定回答をしており、9割を超える児童が人の役に立ちたいと回答していました。一方で、将来の夢や目標をもっている児童の割合は減少しており、全国平均を下回っていました。今後も継続して児童の挑戦心や自己肯定感を高められるような実践や支援を続け、小中接続を意識したキャリア教育等の具体的な実践が必要であると考えます。

中学校の生徒質問紙分析ですが「課題解決に向けて、自分で考え、取り組んでいるか」「自分の考えを工夫して発表しているか」「話し合いを通じて、自分の考えを深めたか」の項目で肯定回答が大きく増加しました。これは小学校と同様に、新学習指導要領の趣旨を踏まえた授業改善が図られた結果、生徒の認識も変化したためと考えられます。特に「話し合いを通じて、自分の考えを深めたか」の項目が大きく増加しており、中学校における授業のあり方が数字にも表れているのだと思います。「自分にあった学び方であったか」「周りと協力して課題解決しているか」の項目は、8割を超える肯定回答であるものの、どちらの回答も全国平均を下回っていました。小学校と同様の課題になりますが、今後も継続した指導が必要であると考えます。ICT機器活用の効力感の項目については、どの項目もおおよそ9割程度の生徒が肯定回答で、県平均・全国平均を上回っていました。引き続き実践を進めていけたらと思います。

学校生活の楽しさや教師の受容感について項目で、生徒の8割が肯定回答をし、昨年度よりも増加していました。ただ、依然として全国平均を下回っています。今後も継続して、学校は分かりやすい授業や生徒の安心できる居場所づくりに努めていく必要があります。中学校では、将来の夢や目標をもっている生徒の割合はやや増加し、地域や社会貢献に関する項目への肯定回答も大きく増加しているものの、全国平均はどちらの項目も下回っていました。生徒のキャリア教育や自己肯定感を高められるような指導を継続して行う必要があると考えます。

小学校の正答率経年変化ですが、国語は、令和5年度の調査と比べて全国平均との差が広がるような状況となっています。算数は、令和5年度の調査と比べて全国平均との差が縮まりましたが、下回る状況となっています。

中学校の正答率経年変化ですが、国語は、令和5年度の調査と比べて同程度ですが、全国平均・県平均を下回る状況となっています。数学は、令和5年度の調査と比べて全国平均・

県平均を下回り、昨年度より昨年度より少し悪くなっている状況です。

続いて、同一母体の正答率変化です。令和3年度は小学6年生、令和6年度は中学3年生で、同じ母体になっております。

これまでの傾向では、中学生になってから学力がついてきていることが分かりましたが、国語においては同様の傾向が見られますが、算数・数学では県平均・全国平均を下回る状況になっています。

基本的な基礎学力をきちんとつけていくことは、小中学校共に指導方法の改善を図りながら進めていくことが必要であると、改めて学校とも話をしています。

以上で説明を終わります。

(質疑・意見)

栗本委員

コロナの影響は出ているのでしょうか。

鈴木指導主事

問題の難易度が毎回変わることもあり、コロナの影響があるかと言われると違うかもしれません。

加古委員

同一母体の正答率変化について、これまでは県全体としても小学校の時の結果が良くななくても、中学校になってからプラスに転じていくという傾向で、知多市でもそういった傾向が見られましたが、今回の調査結果ではそうならないので、今後は指導主事が述べておられたように、基礎学力を身に付けるような指導方法を期待します。

もうひとつは、知多市の子どもたちは記述式の問題について、無回答が多いということでしたが、書けるところまで書いてみるという気持ちが大切であると思います。これはテストに限らず、どんな時でも自分がやれるだけやってみようという行動することで発展することがあると思いますので、せっかくこういった分析をされたのですから学校とも共有して、活かしていただきたいと思います。

鈴木指導主事

校長会でこの内容については伝えていますが、今後も学校を訪問した際などに折に触れて伝えていきたいと思っています。

(4) 市民体育館の工事に伴う一部利用休止について（報告）

(説明) 濱野生涯学習スポーツ課長

市民体育館の工事に伴う一部利用休止について、ご報告いたします。

1 工事概要につきましては、工事名「市民体育館武道棟空調設備設置工事（週休2日）」で、工事内容は、市民体育館の卓球場、剣道場及び柔道場に新たに空調設備を設置するものです。

2 施設の一部休止につきましては、対象施設は卓球場、剣道場及び柔道場で、休止期間は、令和7年1月21日火曜日から2月7日金曜日までです。なお、その他の施設については、通常通り利用いただけます。また、10月から1月分の予約が取れることから、施設の一部休止につきましては、ホームページに掲載するとともに、館内の窓口等に既に掲示して周知しています。

以上で説明を終わります。

(質疑・意見) なし

(5) 令和6年9月準要保護者等の認定状況について（報告）

(説明) 林学校教育課長

令和6年9月準要保護者等の認定状況について、ご報告いたします。

準要保護の認定につきましては、前回から今回までの認定件数は、小学校11人、中学校4人で、取消は小学校2人でした。現在の認定者数は、小学校343人、中学校246人、合計589人です。

認定児童生徒の理由別内訳は、「児童扶養手当の支給を受けているもの」の理由で、認定が4人、取消が2人、「保護者の職業が不安定で、生活状態が悪いと認められるもの」の理由で、認定が11人です。

次に、要保護の認定につきましては、前回から今回までに認定、取消ともにありませんでした。現在の認定者数は、小学校13人、中学校6人、合計19人です。

続きまして、特別支援教育につきましては、Ⅱ段階では、前回から今回までの決定は中学校で1人、取消は小学校で1人でした。現在の決定者数は、小学校149人、中学校49人、合計198人です。Ⅲ段階につきましては、前回から今回までに、決定、取消ともにありませんでした。現在の決定者数は、小学校14人、中学校2人、合計16人です。

就学援助認定者数の前年度との比較表でございます。上段の要保護の認定者数、9月は令和5年度と比較し、4人増の19人です。下段の準要保護は、8人増の589人となっております。

以上で説明を終わります。

(質疑・意見) なし

(6) 教育委員会後援事業について (報告)

(説明) 林学校教育課長

教育委員会後援事業について、ご報告いたします。

9月中に、知多市教育委員会後援に関する取扱要綱第3条の規定に基づき、教育長の決定により、項番1の事業名「障がいのある青年たちとつくる『学びの場』講演会」から、項番11の事業名「メディアプログラミング体験会」までの11事業について後援を承諾しましたので、ご報告いたします。

以上で説明を終わります。

(質疑・意見) なし

6 自由討議

(1) 学校訪問について

栗本委員

東部中学校の学校訪問に出席しました。

同じ環境で3学年あるわけですが、どの学年もそれぞれ違う個性を持っていました。

9月に起こった能登半島の豪雨や、その前に発生した地震など、災害について強く関心を持っているように感じられました。学校は災害が起こった際に市民の方が避難してくる大事な場所でもあるので、油断していると間に合わないことになってしまうことがあります。夏場や冬場などに発生した際は、体育館にエアコンが必要になることもあると思います。予算との兼ね合いもあるとは思いますが、必要に応じて設置してほしいと思います。

久野委員

旭東小学校の学校訪問に出席しました。

1年生から6年生までの6学級と、特別支援学級が4学級という小規模な小学校で、小規模な学校ならではのと言えるか分かりませんが、非常に目が行き届いた丁寧な指導が出来ていると感じられました。

不登校も非常に少ない学校と聞いていますが、一方で中学校へ進学した際に今までの慣れた環境から新しい環境へのギャップが発生するという課題もあるのではないかと、という話も伺いました。ただ、安心安全な環境で見知った人達と過ごした6年間というのは未知の世界に飛び出す力になると思うので、それがうまく活かされていくと良いな、と思いました。

竹内委員

八幡小学校の学校訪問に出席しました。

知多市内で一番児童数と学級数が多い小学校ということですが、多くの学級で電子黒板やタブレット等を用いて、一方通行ではなく、先生と児童が一緒になって授業を作り上げているという印象を受けました。

また、特別支援学級のひとつでは教室の前の廊下に仕切りカーテンを設置して、その中に入っていれば心が落ち着ける、という空間を作るなどの工夫がされていて、とても良い取り組みだと思いました。

直近の動向としては新型コロナウイルスやインフルエンザの感染者数が増加傾向にあると聞いています。引き続き、感染予防に留意した学校運営をしていただけたらと思います。

最後に、近年の気温上昇に伴って屋外での体育の授業が出来ないという状況があるようで、水泳の授業の期間をもう少し延ばすことが出来ないかという現場の意見もありました。今後検討していく課題であると考えます。

(2) 11月の行事等予定について

林学校教育課長

11月の行事等予定表の事項を説明した。

(3) 知多市民美術展及び相撲巡業について

濱野生涯学習スポーツ課長

11月22日から24日まで市民美術展が開催されます。

今回の市民美術展は周年事業となりますので、例年とは違う取り組みをしていこうと計画しています。ご都合がつくようでしたらお越しいただけたらと思います。

続けて、11月1日の広報に同封されるチラシについてですが、来年度の4月9日に相撲巡業が知多市に来ます。東海市の相撲巡業と同じく、テレビ愛知に協力いただいて行われます。11月1日以降にチケット販売等のチラシも入りますので是非購入いただけたらと思います。なお、知多市ではチケットの無料配布等はありません。

加古委員

相撲巡業はどこを会場に行われるのでしょうか。

濱野生涯学習スポーツ課長

体育館に土俵を作って行う予定です。

7 閉会

第10回知多市教育委員会定例会を閉会する。

次回は、11月8日（金）午前9時30分から第11回定例会を予定する。

知多市教育委員会会議規則（昭和45年教委規則第2号）第14条の規定により、ここに署名する。

令和6年10月11日

(教育長) _____

(委員) _____

(委員) _____

(教育部長) _____